

# 令和7年度 嘉麻市立牛隈小学校 学力向上プラン（8月～3月）

《中期目標》問題に気づき、解決策を考え、伝え合う子どもの育成

《成果指標》令和9年度全国学力・学習状況調査において、標準化得点 国語98以上、算数98以上

《短期目標》基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、自分の考えを表現する子どもの育成

《成果指標》2月に実施する「標準学力分析調査」において、全学年標準化得点 国語48以上、算数50以上、総合評定1の割合40%以下

## ■視点1【現状】

教育活動

○算數科単元テストの通過率81% (未通過児童が固定化している)
○読むことへの苦手意識 「読むことが好き」2.7 「読むことが得意」2.7

■ 視点2 授業づくり	〈成果指標(児童生徒が、このようになる)〉	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆単元テストにおいて80%の合格率を通過する児童90%</li> <li>◆R7学期末の学習アンケートにおいて、学習の中で、「読むこと（音読）に進んで取り組んでいる」3.2</li> </ul>	

〈取組指標(学校・教師が、何を、どのように行う)〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇単元テストにおいて、各単元末の習熟の時間を十分に確保する。に支援を行う。</li> <li>◇毎日の授業に読む（音読）活動を設定する。取組を検証委員会で交流し、全校で共有する。</li> </ul>

○学期末の読解通過率81.4 算数トレーニング通過率87.1
○国語の記述における正答率が県比-20ポイント、無回答率-4ポイント

■ 視点3 学力基盤づくり	〈成果指標(児童生徒が、このようになる)〉	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各月最終日の読解プリントと算数トレーニングにおいて80%の合格率を通過する児童90%</li> <li>◆記述における正答率が県比-15ポイント以下、無回答率を同比</li> </ul>	

〈取組指標(学校・教師が、何を、どのように行う)〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇朝の学びタイムにおいて、算数トレーニング+読解プリントを実施する。</li> <li>◇チャレンジタイムにおいて、専科が記述を含んだ問題を選定し、分割授業を実施する。</li> </ul>

○R6家庭学習強化週間において、土日の学習時間0の児童が28.9%
-----------------------------------

■ 視点4 家庭機関との連携	〈成果指標(児童生徒が、このようになる)〉	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆家庭学習強化週間において、児童の土日の学習時間0の児童25%</li> </ul>	

〈取組指標(学校・教師が、何を、どのように行う)〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇家庭学習（自学を含む）の目的や内容について職員で共有し、学校として、家庭に協力を依頼する。（土曜未来塾への参加を促す。）</li> <li>◇各学期に家庭学習強化週間を設け、目標を設定して取り組むことができるようする。（個への働きかけを行う。）</li> </ul>

○取組の検証・改善が不十分
○授業アンケート（教師用）未実施

■ 視点5 組織マネジメント 教員の意識・情意の向上	〈成果指標(児童生徒・教師等が、このようになる)〉	評価
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆校内研究推進・学力向上検証委員会で、学びタイムの通過率、単元テストの結果を持ち寄った検証を行い、取り組みの改善策を協議した割合100%。</li> <li>◆授業アンケート（教師用）において、課題設定ができる。</li> </ul>	

〈取組指標(学校・教師が、何を、どのように行う)〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇校内研究推進・学力向上検証委員会を毎月第1火曜日に実施し、単元テストにおける通過率を持ち寄った検証を行う。</li> <li>◇授業アンケートを学期1回実施し、課題設定を行う。</li> </ul>

## 全国学力・学習状況調査、県学力調査の結果

標準化得点、四分位層との差	国語					算数・数学					質問紙	
	標準化得点	A層	B層	C層	D層	標準化得点	A層	B層	C層	D層		
	R 6 県調査	72.9	-20.7	-10.2	16.4	14.5	79.4	-31.2	-16.7	5.3	19.8	
	R 7 全国調査	76.6	-29.1	-13.7	17.1	25.8	78.5	-22.1	2.0	4.1	16.0	* 「学級の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり新たな考え方方に気付いたりする」肯定的評価95%
												* 「国語の勉強について、好き、得意」と肯定的に評価した児童の割合が30%
												* 「普段読書をしない」と回答した児童の割合が55%